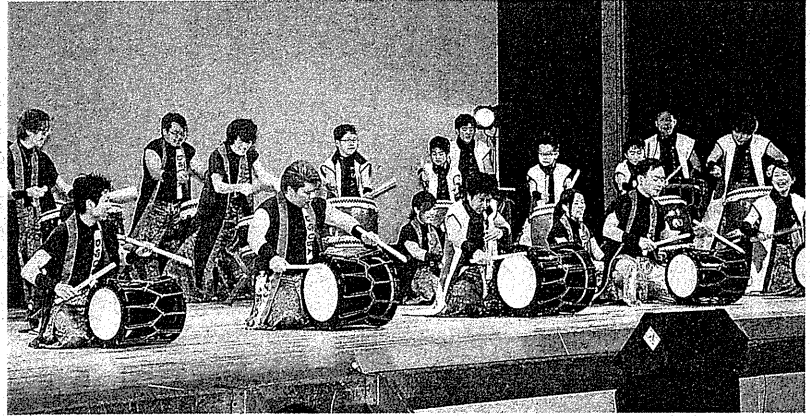


# 西九州大生 迫力の和太鼓 サークル「堂打」卒業公演



ゲストも交え、気持ちがかもった演奏を披露した西九州大和太鼓サークル「堂打」の卒業公演—佐賀市民会館

佐賀市

西九州大の和太鼓サークル

「堂打」の卒業公演が2月28日、佐賀市民会館であった。サークルメンバー16人やゲストの津軽三味線奏者、ドラマーらが、気持ちのかもった熱い演奏を披露し、卒業生2人を華やかに送り出した。

同サークルは結成6年

目。メンバーの多くは太鼓未経験者で、経験者が中心となりながら週2回の練習に取り組み、大学祭や地域の幼稚園、養護施設などで演奏してきた。

卒業公演では「琥蛇来」「疾風」「どつだつ！」など太鼓の迫力が存分に味わえる13曲を披露。和太鼓とドラムによる「和と洋のセ

ッション」、津軽三味線や篠笛との共演、出演者一人一人が自分の気持ちを表現した演奏を披露する「ソロまわし」なども演奏され、駆け付けた家族や友人、観客から大きな拍手を受けた。

同サークル部長で卒業生

の森爽大朗さん(21)は「未経験者が多く決して上手ではなかったが、技術だけじゃない元気をもらえる演奏が魅力だった」と4年間の活動を振り返り、「メンバー全員が全力で表現し、観客と一緒に盛り上がる最高の演奏ができた」と卒業公演を締めくくった。

(瀬戸健太郎)